

中小業者の営業を総合的に支援する 『中小企業振興基本条例』の制定を

業者にユニークな支援

「ものづくり総合支援補助金事業」では、地場産白樺樹皮エキスを使用したハンドクリームの開発への補助金が支給されています。「商工業人材育成事業」では、講師を招く費用だけでなく、ワインなどの海外研修にも助成がおこなわれています。まさに地域にあった中小企業のための各種事業がすすめられています。



『基本条例』がある

前述の支援は、帯広市『中小企業振興基本条例』にもとづいて行なわれています。その『基本条例』では、①起業・創業および新技術・新事業開発の支援、②人材育成および担い手づくりの促進、③経営基盤の強化、④産業基盤の整備、⑤中小企業者の組織化の促進および中小企業団体の育成がうたわれています。

これまでの大分市では：

1971（昭和46）年に『中小企業振興条例』を制定。「経営指導、技術指導、従業員の福祉対策等について必要な施策」や融資にかかわる規定がされています。具体的施策では、融資にかかわることが大半です。

大分市でも制定を

『中小企業振興基本条例』の制定について、商工農政部長は、「帯広市の条例制定、推進体制

はすばらしい」「自治基本条例制定後に、中小企業施策の中心となるものに改定したい」と答弁しました。

核兵器はなくせる

5月の『核不拡散再検討会議』に691万を超える署名が提出され、藩国連事務所長が原水協の現地集会で発言するなど、世論が大きく高まり、核兵器廃絶にむけた「最終合意」文書が確認されました。

今年も「国民平和大行進」で、大分市内を7月9・12～14日の4日間、歩き通しました。

また上がった国保税

「高すぎる」「もう払えない」などの声が寄せられています。国保税には、法定減免と申請減免があります。ご連絡ください。高すぎる国保税を引き下げましょう。

日頃の「いま

7月24・25日 「夏は祭り」。

大分市では「雨の長浜様」がかわきりです。「火群祭り」が、24・25、七瀬自然公園で行なわれました。高さ13mの『柱松』は圧巻。その『柱松』は、地域のみならずの手作りです。私もいっしょに作りました。祭りは観るだけでなく、参加する、さらに準備からが楽しいです。地域の輪も広がります。

日本共産党と広次③

大学で最初に出会った政治団体は『原理研』です。ある日、友だちと教育学部棟前の芝生で談笑してしまいました（とっつても学園ドラマ風ですが）。すると先輩風の女生が寄ってきて「北朝鮮のミサイルはどこに向いているか、知っていますか」と質問してきました。「ちょっと面倒だな」と思い、「一発は私の上でしょう」と答えたのを覚えています。彼女は笑いがら去って行きました。（続）